

令和元年度 串間市立有明小学校 学校関係者評価書

評価項目	評価項目	具体的な方策・手立て	学校の自己評価		学校関係者評価委員の意見	評価	
			結果の考察・分析及び改善策等	自己評価 指標別 総合			
1 かしこい子	① 職員の資質向上及び授業力向上に取り組み、「分かる」授業をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人1授業を行い、相互参観することで日々の授業を見直し、授業改善に活かす。</li> <li>○ 授業改善の4+4のポイントを意識した指導を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容が分かりやすいと答えている割合が児童・保護者・教師とも高く、授業改善の努力の成果がうかがえる。</li> </ul>	5	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代は、テレビ、スマホの時代なので、家で本を読む機会がないのではないかと、何とか文章に触れる機会を作ってほしい。</li> <li>・ 最近、職場等でも年々文章を理解できない若い人が増えているような気がする。有明小でも長文の読解がまだ十分ではないということなので、徐々にできるようにしてほしい。</li> <li>・ 読書通帳やお勧めの本の紹介の掲示物などに工夫を加え、表彰制度を組み合わせたり、図書館に足を運び、本を手に取り、面白いと思える本に出会えるようにするなどしてほしい。挿絵の紹介も効果的ではないか。</li> </ul>
	② 課題や問題に対し自分の考えを書いたり伝えたりできるようにするとともに、家庭での学習習慣を定着させ、学力向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを書いたり発表したりできる場を授業や集会等に設ける。</li> <li>○ 全職員でスキルタイムの指導に取り組み、漢字や計算などの力を付ける。</li> <li>○ 「有明小のあたりまえ」において、家庭学習の目安時間を設定し、各学年の時間に応じた宿題を出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力検査（CRT）の結果では、ほとんどの学年の平均点が全国平均を上回っている。（国語は4学年、算数が5学年、理科がすべての学年で全国平均を上回っている。）これは、昨年度と比較すると、大幅に改善されている。学力検査で学力の全てが計れるわけではないが、この結果をもとにさらに学力がつく取り組みを進めていく。</li> </ul>	4			
	③ 図書に多く触れさせる場や機会を設定し、図書に親しませる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読んだ本を記録する読書通帳を活用し児童の意欲向上を図る。</li> <li>○ 図書司書によるブックトークや放送による図書の紹介等を行い、興味をもたせる。また、古書の廃棄と図書の整理・補充を行い、環境整備に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童、保護者、教師ともにアンケートの結果で低く評価している。特に保護者が低い。学校、家庭でも読書の習慣ができる方策を講じていく必要がある。</li> </ul>	3			
2 やさしい子	① 児童がいつも笑顔で生活できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全職員でよい行いを奨励し、善行児童に毎月「スマイル賞」を授与することで自己肯定感をもたせ、人に優しく接する態度を育てる。</li> <li>○ 地域に密着した海洋教育を推進し、地域への興味関心を高めるとともに、地域のよさに気付かせ、愛着感を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笑顔での学校生活ができており、児童・保護者・教師ともアンケートで高い評価となっている。そうでない児童もいることを念頭に置いて全職員で見守っていききたい。</li> <li>・ 全児童67名中7名が「スマイル賞」をもらっていない（2月現在）ので、よいところを認め、3月までに全児童に授与したい。</li> <li>・ 海洋教育の予算もあり、地域の協力を得ながら諸活動を進めることができた。次年度は教育課程の変更及び海洋教育バイオニアスクールの指定も予算も無くなるので、工夫して実施する必要がある。</li> </ul>	5	4	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつは、地域から見てみてもよくできていると思う。校内の元気の良さがさらに朝でも出てくると素晴らしい。</li> <li>・ 子どもの特性によっても違うので、それぞれに合った指導も工夫してほしい。</li> </ul>
	② 相手を大事にし、望ましい社会性を身に付けられる学校をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「有明小のあたりまえ」の指導を徹底し、全職員で指導内容の共通理解を図り、共通実践のもと基本的生活習慣の定着を図る。</li> <li>○ 道徳や学級活動を通して、ソーシャルスキルの育成を図る。</li> <li>○ 大きな声で自ら進んであいさつができるようにする。</li> <li>○ 全職員が全児童の担任であるという意識で接し、気付いた職員がその場指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅刻者は減少した。さらに登校しぶりと思われる児童の根絶、廊下歩行や昼休みの過ごし方等、まだ徹底していく必要がある。いじめに対しても今後さらに望ましい態度が身に付くように指導を深める。</li> <li>・ 「あいさつ」についてはまだ十分とは言えない。特に朝元気のよい児童が多い。いつでもどこでも進んであいさつができるように指導していく。</li> </ul>	4			
3 たくましい子	① 一人一人の基礎体力と運動技能の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育の授業の工夫や全校児童が一斉に取り組む朝の体力づくりを実施し、運動に進んで取り組む態度を育てる。</li> <li>○ 体育環境を整え、児童一人一人が自分に合った運動に進んで取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎朝、柔軟体操を取り入れ、全校で一斉に取り組んでいる。</li> <li>・ 体育の授業初めに「準備運動10」を取り入れ、体力の向上を図っている。</li> <li>・ 朝の体力向上の時間に、体育委員会の計画・運営のもと多様な運動を取り入れている。</li> <li>・ さらに進んで運動に取り組もうとする態度の育成が必要である。</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストレッチを中心にやっている朝の体操や準備運動10など、とてもよい取組だといえる。</li> <li>・ 持久走大会などを見てみても、運動が得意な子はもちろん、苦手な子も一生懸命に取り組んでいるので、感動する。有明小の児童は、みんなよく頑張っていると思う。</li> </ul>
	② 食に対する関心を高め、健康のためによい食習慣を身に付ける取組を行い、食育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童一人一人が自分の健康状況を知り、健康な身体づくりに関心をもち、学校や家庭での生活を改善しようとする態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好き嫌いについては、児童の意識は高くなっているが、保護者の評価は低い。まだ指導が不十分であると思われる。</li> <li>・ 養護教諭や中学校の栄養教諭の指導を授業に取り入れ児童の発達段階に応じた食育指導を行っている。</li> <li>・ 偏食や遅食の児童もいるが給食はよく食べている。</li> </ul>	4			
	③ 基本的健康生活習慣と、元気な身体作りに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 立腰についての掲示や放送により、児童の意識を高め、良い姿勢で学習しようとする態度を育てる。</li> <li>○ 養護教諭を中心に、授業中や給食時の姿勢について観察・指導を行う。</li> <li>○ 「生活リズムチェック」を毎月行い、定期的に自分の生活習慣を見直させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立腰はまだ不十分である。授業の始まりや終わりの時は意識しているので、立腰の必要性と効果等から指導していく必要がある。</li> <li>・ 「早寝早起き」が不十分で、特に「早寝」ができていない。児童も保護者も認識している事項なので、さらに家庭の協力を促したい。</li> </ul>	3			
4 地域家庭と連携	① PTAと連携して、基本的生活習慣を定着させ、望ましい家庭学習や健康的な生活の習慣化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノーメディアデー、保健日より、学級通信等を通して、家庭での望ましい生活リズム、家庭学習、むし歯の治療など、児童と保護者の意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親子読書、ノーメディアの取組ができていない。具体的な手立てが必要であり、保護者へ協力を依頼する必要がある。</li> <li>・ 再三の呼びかけによって、むし歯治療率が53%に向上した。</li> </ul>	3	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み聞かせの良さは十分理解できるが、疲れて帰ってくる親に無理は言えない。</li> <li>・ せめて親が本を読んでいる姿勢を見せてほしい。</li> <li>・ PTA活動とも連携して、親子読書大会や親子ゲーム大会を催し、一緒に活動する機会を増やしてほしい。</li> <li>・ 歯医者が少ない。地域の協力が必要。</li> </ul>
	② 有明校区コミュニティ協議会と連携して、保護者や地域住民の参加・協力を求める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有明校区コミュニティ協議会との連携を一層密にして、地域と連携した活動の充実を図り、地域とともに発展する学校づくりをしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティ室で有明区の「いきいき元気教室」が毎週金曜日に開催され、きらり学級との関わりなど、プラスの面が見られた。今後も気楽に学校行事に参加したり来校したりできる体制を整えていく必要がある。</li> </ul>	4			